

## 出前講座「東広島の大地」

広大マスタース会員 沖村雄二

平成 27 年 7 月 13 (月) (午後 1 時から 2 時) に、八本松中学校の総合学習 (1 年生 40 名) の時間に、「東広島の大地」と題して授業を行いました。東広島地域の岩石と化石約 50 点を持参し、40 コマのスライドをつかひながら、地形と地質の特徴について説明して質疑応答、とくに中学校付近のボーリング資料を使った地下地質の話はかなり興味をもって聞いていたように思います。受講した生徒が作成した校内での新聞コンクールのうち、3 面を添付して報告いたします。





ジュニア新聞 応募用紙  
(小学3・4年、5・6年、中学生用)

応募者名(ふりがな)	学校名	学年
佐藤 大樹	東広島 八本松中学校	1
山崎 拓也	〃	〃
阿部 悠	〃	〃
木下 美佑	〃	〃

## 東広島、大地の歴史

# 東広島、大地の歴史

現在に近づく地形

1. 日本海に面した地形  
約二千万年前、日本海が形成された。約千六百万年前、日本列島が形成された。この間に、日本列島の地形は大きく変化した。東広島もその影響を受けた。現在は、日本海に面した地形となっている。

2. 扇状地の形成  
扇状地は、山地から流出する土砂が扇状に広がる地形である。東広島には、扇状地が広く分布している。これは、山地の侵食作用によるものである。

### 扇状地

扇状地の形成は、山地から流出する土砂が扇状に広がる地形である。東広島には、扇状地が広く分布している。これは、山地の侵食作用によるものである。

### 古瀬戸内海の消滅と古黒瀬の流れの方向

中国山地地域の隆起と海水面の低下が原因で、古黒瀬の流路が変化した。古黒瀬は、かつては瀬戸内海に注いでいた。しかし、中国山地の隆起により、海水面が低下し、古黒瀬の流路が変化した。現在は、瀬戸内海に注いでいる。

## 岩石の種類



出典 沖村 雄二



中国新聞新聞 読者保存紙  
(小学生は2枚、中学生は1枚)

氏名	所属校	学年
藤田 亮太	八木松中学校	1
藤村 悠	八木松中学校	1
村上 悠太	八木松中学校	1
村上 悠太	八木松中学校	1

2017 CONTEST

## 東広島の大地

### 西条層について

西条層には、河川流の層状堆積ユニットが観察され、ユニットごとに異なる堆積環境の解釈-復元ができる。  
また、河川水の運搬力と水流の方向を示す、トラフ型の斜交層理がよく発達する。  
そして、西条層には、河川の自然堤防に起因すると考えられる厚い砂層がよくみられ、後背湿地と考えられる細粒堆積相に側方変化することがある。



一定量の河川水と下流



Ⅰ型

西条層と観察された周期性堆積ユニットの側下部は礫層と砂層が交互、上部は砂層、そして、最上部層は泥層に砂化して遷移を含むことがある。  
粗い中粒の砂層には、トラフ型の斜交層理が見られ、古流向を測定することができる。

## 東広島の大地

### 今も生きる化石



化石1



化石2

### 地形について

約900~600万年前 日本列島がインドアフリカ大陸の南端で、主として、海成層を形成する。  
約2000年前 日本列島がそのはじめ、約1000年前に、日本海に太平洋をうける。  
約1600年前 古瀬戸内海が、たどる。これは、  
約1000年前 中国山地地域の隆起と海水面の低下が原因で海退が起こり、河川による浸食作用による。現在に近い地形ができた。

### 感想

大地は大地でも、西条層という層理にとっても間わりのある地層の歴史が変化について学べたのととても良かったです。  
化石や水産品を見ながら地形について詳しく知ることができました。今回知ったことをこれから生かしていきたいと思います。

変わりつつある僕らの大地！